

倉敷平成病院に来てからの生活

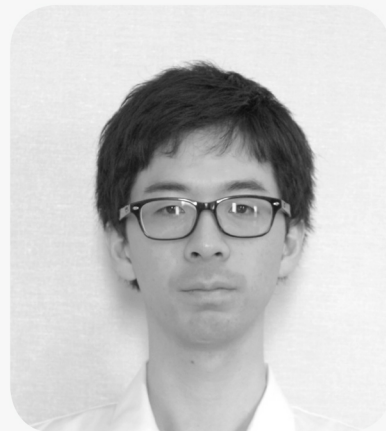
私は身長が185cmありますが、胸部レントゲン写真を撮るときはいつも、自分の身長より低いところにある顎置きに顎を乗せ、股を開いて少しかがむという「恥ずかしいポーズ」を取らされます。出身地にある津山の病院、母校の岡山大学病院でもいつもその「恥ずかしいポーズ」を取らされておりました。放射線技師さんはいつも私の醜態を後ろで笑っていたことでしょう。10月にこの病院へ赴任させていただいた最初の健康診断の時も胸部レントゲン撮影がありました。赴任早々に醜態をさらしたくないという思いがありましたが、倉敷平成病院の顎置きは私の顎の高さまでシューっと上がってきました。素晴らしい病院だ、と思いました。

倉敷での生活が始まり約2か月が経ちましたが、大体の行動範囲が定まってきました。基本的に自宅と病院で9割以上の時間を過ごしています。数少ない外出として、週1回は市営のプー

ルに通って泳ぐようにしています。平日の夜8時頃から1時間で1km少し泳ぐのですが、運動不足解消にとっても良いです。泳ぎはあまり得意ではないのですが、何とか平泳ぎで泳いでいます。いつもは遊泳レーンで泳いでいますが、先日調子に乗ってトレーニングレーンに行ったら、小学生に余裕で追いつきました。もう少し練習します。

私の家には洗濯機がないので(岡山に置いてきました)、病院の東にあるコインランドリーを月に3回ほど利用します。コインランドリーは初めて利用するのですが、乾燥機のパワーがすごいでタオルがフワフワになります。将来はいい乾燥機を買おうと思いました。

土曜日の午後は病院西にある「コロンバン」という喫茶店によく行きます。外観からは少し入るのに勇気がいる店でしたが、ナポリタンとマスターが入れてくださるコーヒーがとても



脳神経内科

おさかだ ようすけ

小坂田 陽介 先生

おいしく、今では毎週行くようにしています。倉敷にいる間は通い詰めようと思います。

以上、私の倉敷平成病院に来てからの生活でした。私がこの病院へ赴任させていただくのは半年間という短い期間ですが、この病院とこの街で精一杯頑張りたいと思います。

小坂田先生は月曜・木曜午前の脳神経内科、火曜・第3土曜午前のもの忘れ外来を担当されています。

Doctor's Eyes